

旭小学校

R6 接続期カリキュラムの取り組み

～「〇からのスタートにしない！」を意識して～

☆幼保小 職員同士の意見交換



年度当初に、関わる幼保小の職員で集まり、顔合わせ＆交流計画について話し合う。

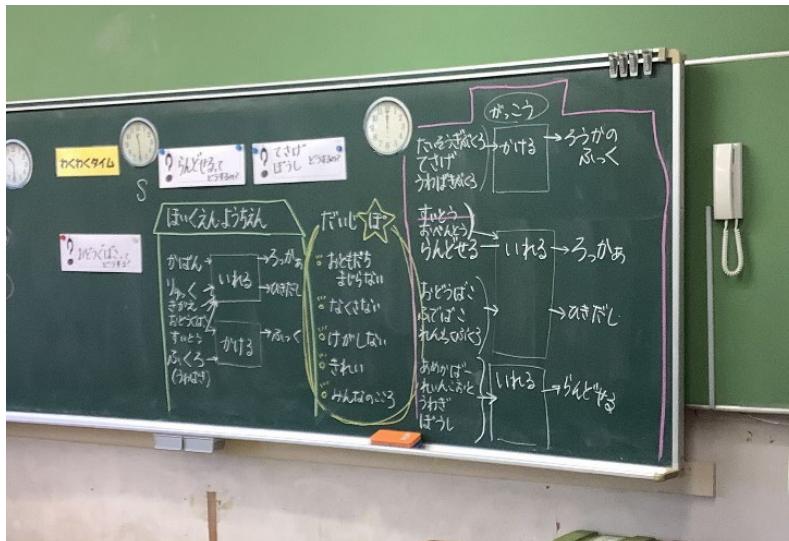
☆『0からのスタートにしない』 ～園での生活を思い出しながら～

「のびのびタイム」



「わくわくタイム」「なかよしタイム」「ぐんぐんタイム」の前に「のびのびタイム」をつくり、登園後の時間を再現

「園ではどうだった？」



常に「園ではどうだった？」という声かけを意識し、学校生活での色々を子ども達と確認。そのため、不安が少なくなり、初めての給食も、ほとんど自分達の力で取り組むことができた。

☆『0からのスタートにしない』

～園の先生来校＆交流～

園の先生、サプライズ訪問。園で行っている活動と一緒に取り組む。



園の先生に来ていただき、園で行っていたことをしてもらい、園の頃に戻った感覚になり、緊張感も和らぐ時間になった。

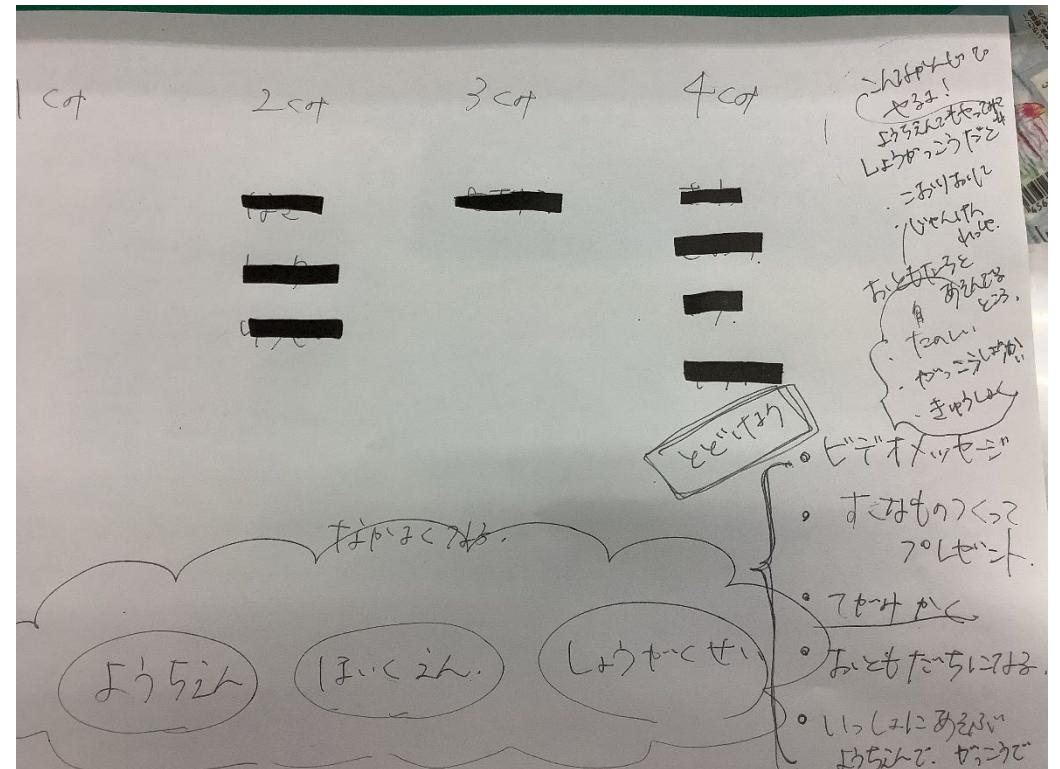
☆『0からのスタートにしない』 ～園の先生からのビデオレター～

ビデオレターでの交流



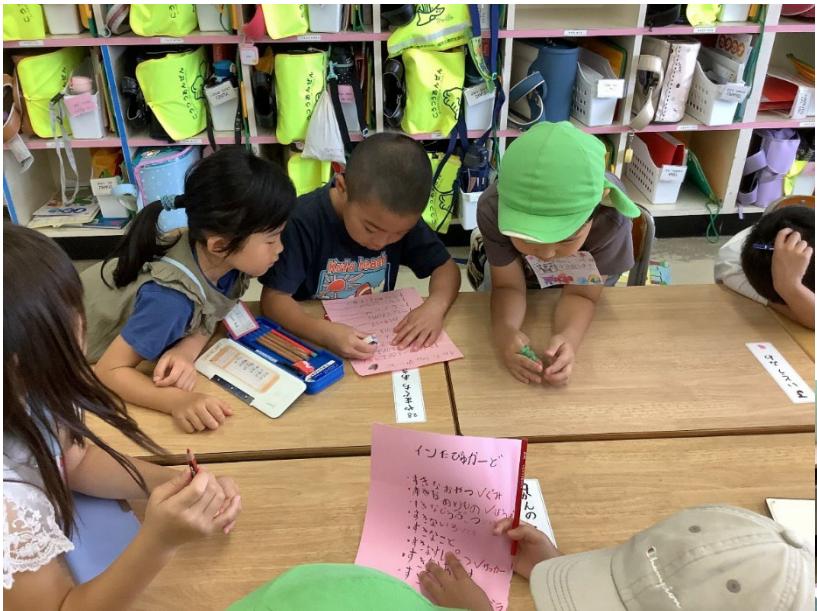
時間の都合上、来校が難しい園もあった。そのため、ビデオレターという形で交
流をした。

幼保小実行委員



☆幼保の架け橋＆アプローチカリの始まり

まずは仲良くなろう



初めての交流。

(小) 自分が年長の頃を思い出し、園の子を意識した企画内容を考えた。



(幼保) 小学校という場所、教室という場所、初めてのことばかりの体験で、アプローチカリキュラムの始まりができた。

☆幼保の架け橋＆アプローチカリ

ちょっと小学生体験

ランドセルを背負ってみたいという園児の希望を叶えるために、自分のランドセルを貸したり、教室を案内してみたりした。



☆幼保の架け橋＆アプローチカリ

プレゼントどうぞ

ばいばい！またね！



「また会いたい」「また行きたい」「また一緒に遊びたい」という思いを残し、次の交流への意欲がもてるようとした。



☆経験もつながっている

大きくなってきたな。植木鉢、どこに置こうかな～。



こちらが教えなくとも、園での経験を活かし、種の植え方、植木鉢の置く場所等を考える姿が見られた。

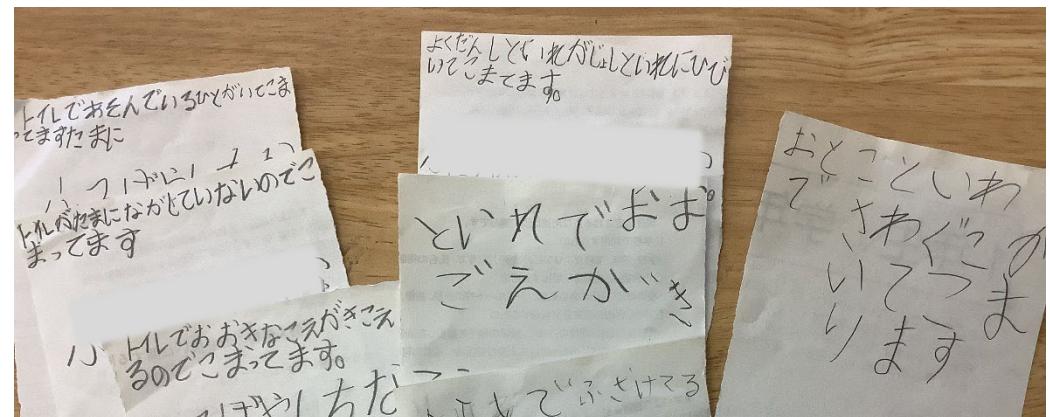
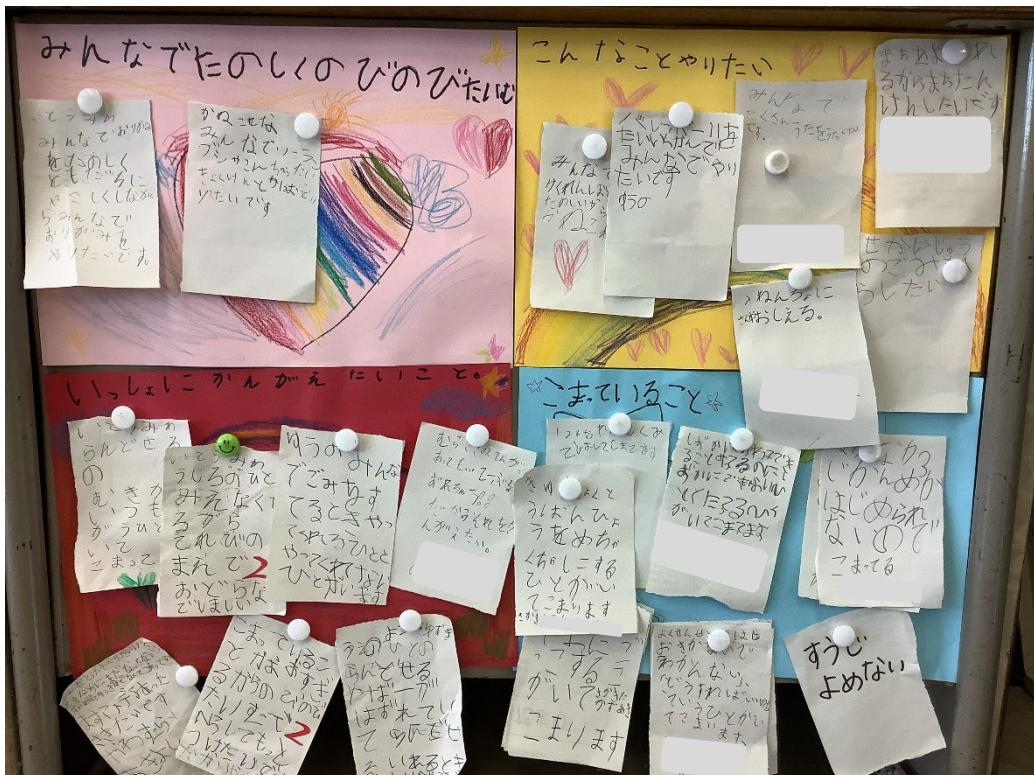
お花も、身長を計ってみよう！



☆子ども達の育ちはつながっている

子ども達の思いをクラスの力に！

困ってる！なんとかしたい！を学習に



園での経験、育ちをいかし、「自分たちの思いから活動を考える。行動する。形にしていく。」に取り組んだ。そこから生まれた第1号が、学校探検での学習につながる「トイレを使うための作戦」だった。

☆子ども達の育ちはつながっている

何をしているのか追っかけ調査！



教室で考えるだけでなく、実際に
「見て確かめる」をするために、ト
イレを掃除してくれている用務員さ
んの追跡調査を行った。

☆子ども達の育ちはつながっている



調査してわかったことから、何を書くか考えよう



学校のみんなにも伝えよう！



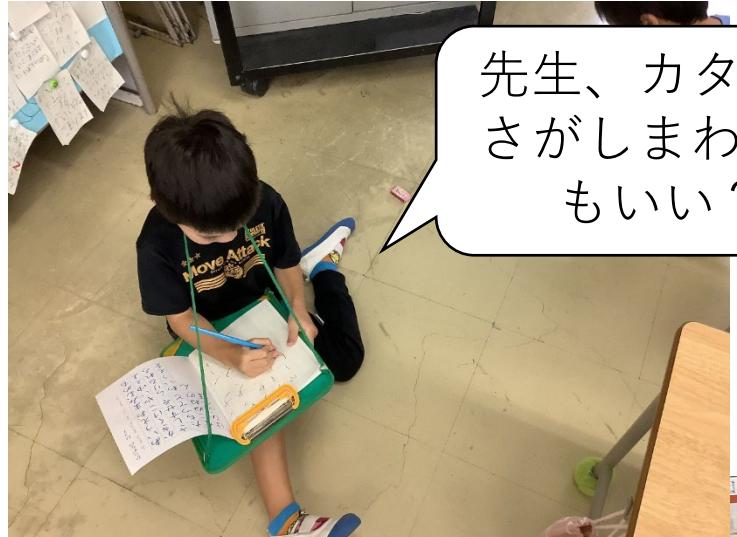
どの言葉と、どの写真が伝わるかな？



みんな大切にしてね！

分かったことから、どんな言葉を使うか、どこに貼るか、何枚必要か、どうやって自分達の思いを伝えるか等を、考え方行動し、形にしていった。

☆子ども達の育ちはつながっている



学びのヒントを自分で探しに行こう



他の学習でも、「自分から確かめに行く」「友達と高め合う」活動を、自ら取り組む。



友達と学びを支え合おう

ねえねえ、ちょっと聞いててくれる?



☆園児との交流を重ねてだからこそその育ち



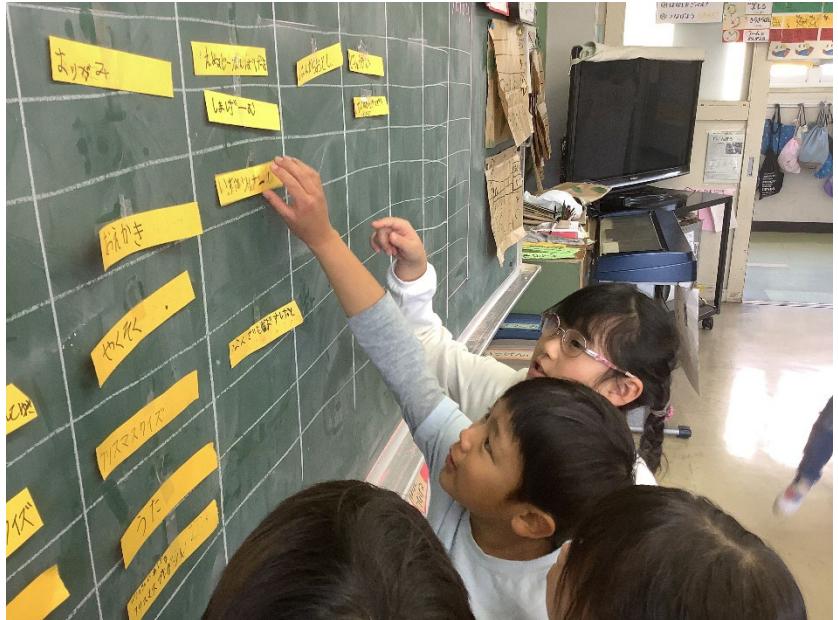
一緒に季節を感じたよ



互いに、発表会の練習を見せあって、意欲を高め合ったり、自信をつけたりしたよ



☆交流を重ねてだからこそその育ち



(小) より相手意識をもち、年長さんの時のことと思い出したり、気持ちを考えたりしながら企画内容を考えたよ



(幼保) 小学校へ行く機会を重ねることで、少しずつ「小学校」という存在を近くに感じられるようになってきたよ



☆交流を重ねてだからこそその育ち



地域の公園のイベントのために、一緒にポスター作製をしたり、イベントに参加したりしたよ



交流という形だけではなく、同じ地域の一員として、公園を大事に使おうという意識も高めることができたね



☆そしてアプローチカリキュラムへ 2年生へのステップアップへ

入学説明会の際に、
園児も呼び「まって
るよ♪」の会をした



園児から「楽しかった、早く
1年生になりたいな」「また
会おうね！」という感想をも
らえた。1年生は、園児の立
場に寄り添って案内をしたり、
イベントをしたりできた。

園児の気持ちを聞いて、それに合わせてた「学校わくわ
く大作成」をした

「学校わくわく大作戦」でも、
園児の学校へのわくわく感を高
めることができた。また、園の
先生から「1年しか歳が変わらな
いのに、こんなに素敵なお兄さ
んお姉さんになるなんて、感動
です」と言ってもらえた。



互いのステップ
アップの機会に
することができ
たので、来年度
への期待も高
まった。